

令和3年度職員採用選考試験
獣医師 専門記述試験 (3.6.20)

= 課 題 =

○ 家畜衛生について

我が国における家畜伝染病対策は、家畜伝染病予防法に基づき、国と都道府県、市町村、農場等との連携により、日頃から発生予防対策を実施する一方、万一、発生した場合には、迅速かつ的確にまん延防止対策が実施できるよう、防疫演習を行うなど防疫体制の強化に努めています。

そのような中、高病原性鳥インフルエンザは、昨年度シーズン、国内において18県、52事例発生し、約987万羽が殺処分され、本県においても初めての発生が認められています。

さらに、豚熱については、平成30年9月に岐阜県の飼養豚で発生して以来、13県68事例発生し、約24万頭が殺処分されており、家畜を飼養する上で国内の農場が家畜伝染病等の発生予防対策として守らなければならない飼養衛生管理基準のより一層の遵守徹底が求められています。

これらのことを踏まえ、次の質問に対し全て回答しなさい。

1 家畜伝染病予防法について

次の空欄に当てはまる字句を記述しなさい。

家畜伝染病予防法 第一条

この法律は、家畜の伝染性疾病の発生を予防し、及びまん延を防止することにより、()を図ることを目的とする。

2 高病原性鳥インフルエンザについて

- (1) 発生予防に有効と考えられる対策
 - (2) 発生時のまん延防止に有効と考えられる対策
- をそれぞれ3つ具体的に記述しなさい。

3 豚熱について

現在、豚熱の感染が拡大しています。国内の感染拡大を抑制するため、どのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。